

「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク 第26回死刑廃止セミナー

遺族として、 死刑囚の息子として 僕の父は母を殺した

大山 寛人さん

1988年、広島県生まれ。小学校6年生のときに母を亡くし、その2年後、父が自身の養父と妻（著者の母）を殺害していたことを知る。その事実を受け入れることができず、非行に走り、自殺未遂を繰り返す。2005年、父の死刑判決をきっかけに3年半ぶりの面会を果たし、少しずつ親子の絆を取り戻していく。2011年6月7日、最高裁にて父の死刑判決が確定。現在は自らの生い立ちや経験、死刑についての考え方を伝えるべく、活動を続けている。著書『僕の父は母を殺した』（朝日新聞出版）



写真：馬場岳人（朝日新聞出版写真部）

今でも頭に焼き付いて、離れない光景がある――。

2000年3月2日未明、広島宇品港。

鳴り止まないサイレン音。

無数に光る赤色灯。

辺り一面に張られた黄色いテープ。

真つ暗な海を照らし出す大きなライト。

青ざめた父さん。

海面を漂う母さん。

そして僕。

全てはこの日から始まった……。

12月15日

とき 2017年 12月15日(金)

じかん 18:30 (開場 18:00) ~ 20:00

ところ カトリック河原町教会
ヴィリオンホール (地下)

京都市中京区河原町三条上る下丸屋町 423

アクセス 市営地下鉄 京都市役所前 南へ徒歩約3分、
京阪三条西へ徒歩約5分、阪急河原町北へ
徒歩10分、市バス河原町三条すぐ
申し込み不要。どなたでも参加できます。
そのまま会場にお越しください。

資料代 500円

主催 「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク
京都から死刑制度の廃止をめざす弁護士の会
死刑廃止を求める「京都にんじんの会」

共催 日本カトリック正義と平和協議会「死刑廃止を求める部会」